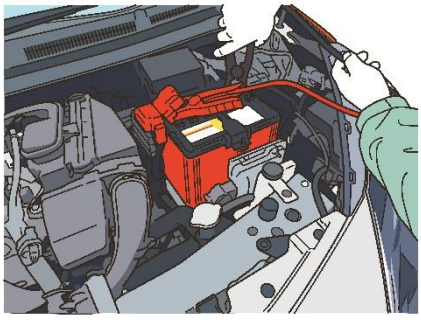
みずほオートリース通信

2024年 10月号

自動車用バッテリーの豆知識

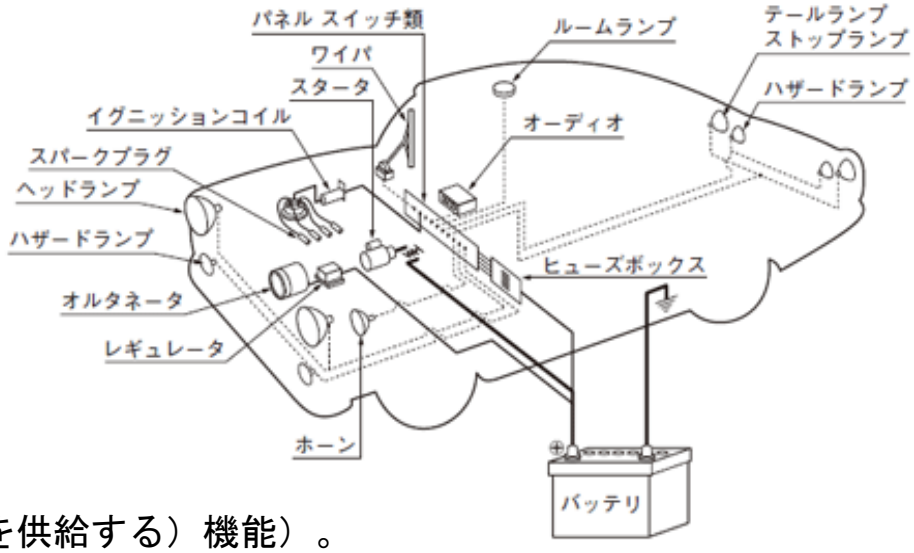


最近のバッテリーは高性能なため、寿命や不調の兆候が現れにくくなっています。そのため、寿命がくると突然バッテリーがあがってしまうことがあります。

突然のバッテリー上がりを防ぐためには、定期的な点検が重要です。今回はバッテリーについて簡単にご紹介します。

バッテリーの役割

バッテリーは、発電された電気を蓄え、車を動かすために必要な電気をエンジンや各電装品に供給するための重要な部品です。バッテリーの役割は、エンジン始動の他に、ヘッドライトやオーディオなどの電装品への電力供給や制御など各種コンピュータ機器へのバックアップもしております（エンジン停止時、カーナビや時計のメモリー電源（暗電流※1として常に電気を供給する）機能）。



※1　暗電流とは、イグニッションスイッチがOFFの状態でも、時計やカーナビ、EUCの学習メモリー保持のため常時流れている待機電流のこと。

バッテリー上がりの原因

バッテリー上がりの原因は「バッテリーの放電状態（充電して回復するもの）」と「バッテリーの寿命（充電しても回復せず、内部の極板が劣化しているもの）」の２つに分かれます。ほとんどのケースは「バッテリーの放電状態（充電して回復するもの）」となります。バッテリーが放電を起こす主な使用状況として「長期間乗らないことによる暗電流による放電」、「半ドア、ライト消し忘れによる過放電」、「車両側充電装置（オルタネーター、レギュレーターなど）の故障」などです。

バッテリーの点検・交換目安

バッテリーの点検項目は大きく分けて「液量点検（液面の低下）」「外観点検（本体のヒビ・割れ、液漏れ、取り付け金具・ターミナル部の緩み）」「内部点検（電圧・比重の低下）」の３つの項目となります。バッテリーの液量点検は日常点検項目として定められており、1か月ごとに点検することをお勧めします。

バッテリーは車の使い方や日頃の点検により寿命に至るまでの使用期間が大きく変わります。バッテリートラブルを避けるために、定期的に整備工場での点検を実施いただき、２～３年を目安に、定期的に交換されることをお勧めします。

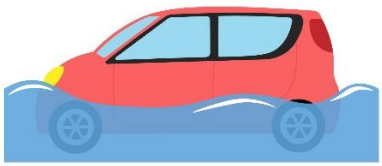
出典：株式会社 ジーエス・ユアサバッテリー 車用バッテリーの知識を参照し、一部引用のうえ当社で作成　https://gyb.gs-yuasa.com/knowledge/car/

水災、雹災の損害は保険で補償されるのか？

2024年の夏の期間の平均気温は、厳しい暑さが続き、昨年と並んで過去最高となりました。また、ゲリラ豪雨、台風による大雨などにより各地で水害が発生しました。

もしも、自動車が台風や大雨により水没した場合など、保険での補償についてご案内します。

台風による大雨、ゲリラ豪雨により自動車が冠水した



車両保険に加入していれば原則補償されます。

但し、地震、噴火またはこれらによる津波によって生じた損害については、補償対象外となります。別途特約の付帯が必要です。

なお、水害により保険を使用して修理した場合、翌年度は1等級ダウンします。

雹（ひょう）で自動車のボンネットやルーフが凹んだ

車両保険に加入していれば原則補償されます。

雹による損害は「飛来中または落下中の他物との衝突」が原因の事故にあたり、1等級ダウン事故として扱われます。

身の安全確保を最優先に！

台風や大雨など自然災害発生の際、最も優先すべきは、身の安全を守ることです。
大雨の場合、ワイパーを使用しても視界の確保は難しいのであれば、安全な場所で一時停止しましょう。クルマを停めることが困難な場合は、徐行しましょう。またその場合ライトを点灯し、周りのクルマから発見できるようにしましょう。

みずほオートリースでは、保険診断、保険の見直しなど無料で承っております。お客様に最適な保険をご提案いたしますので、まずは弊社営業担当者にご相談ください。

みずほリースグループのＥＶソリューションのご案内

EV〇（マル）っと®

EV導入は単なるガソリン車両からの入替えではなく、お客様毎に最適な運用、充電管理、エネルギーマネジメント等が必要となります。
みずほリースグループでは「EV〇っとサービス（読み：イーブイ・マルっとサービス）」を通じて、お客様の課題に対してワンストップのサービスをご提供いたします！
詳しくは弊社営業担当者にお問い合わせください。

みずほオートリース株式会社

Copyright (c) Mizuho Auto Lease Co., Ltd. All Rights Reserved.